

# 音更町における大規模農業の展開と 地域づくりの方向性

札幌学院大学経済学部経済学科3年  
佐々木ゼミナール

高橋勇希 千葉達也 中島直裕 中村星将 西永圭織 松井実咲 丸山隼司 横谷翔平

1,はじめに

2,音更町の地域特性

3,音更町の農業特性

4,各主体の取り組み

5,おわりに

# 1. はじめに

## ○農業のイメージ

担い手不足

貧乏

大変



日本の農業 = 衰退局面に入っている

## ○衰退局面の理由

- ・ 農業従事者の高齢化 後継者不足
- ・ 農業面積、産出額 **減少**

農村部…地域存続の問題が顕在化



地域づくりが注目

## ○地域づくりの方向性

国が中心となった  
地域づくり



地域が中心となった  
地域づくり

小田切(2013)から

## ○近年における各地の地域振興

- ・農山村の資源である農産物を活かす

→ 「食」にまつわる地域振興  
(地産地消・6次産業化etc…)

議論不足

しかし…  
農業そのものを地域づくりにおいて、  
どのように考えていくのか

# ○北海道における地域づくりの方向性

未だに模索中 → なぜ？

## ○地域づくりの対象

→ 農山村などの労働集約型農業を展開

しかし

北海道は、  
生産性の高い大規模農業を展開

そこで  
大規模農業地帯における地域づくりの  
方向性を検討

## ○対象地域

# 音更町

畑作4品目を中心とした大規模農業地帯

## 本報告の目的

産業としての農業が展開してきた音更町における  
大規模農業の展開について踏まえたうえで  
地域づくりの課題を挙げる！

これからの地域づくりをどのように  
進めていくべきなのか考察していく！

## **2.音更町における地域特性**

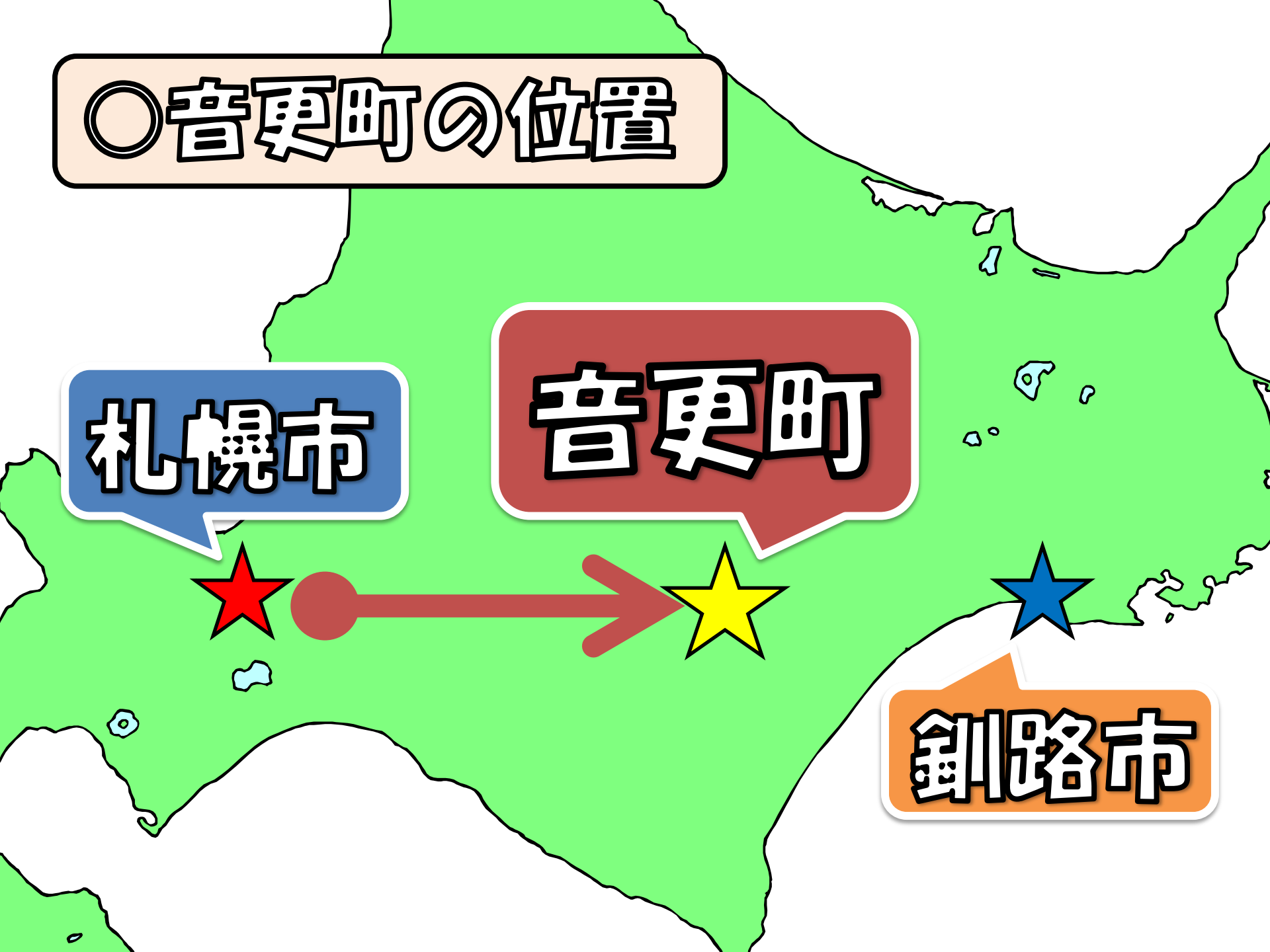


# ◎音更町の位置

札幌市

音更町

釧路市







# ○人口・市街地形成の特性



小麦畑



農業地帯



小麦製粉工場

高速道路

住宅街

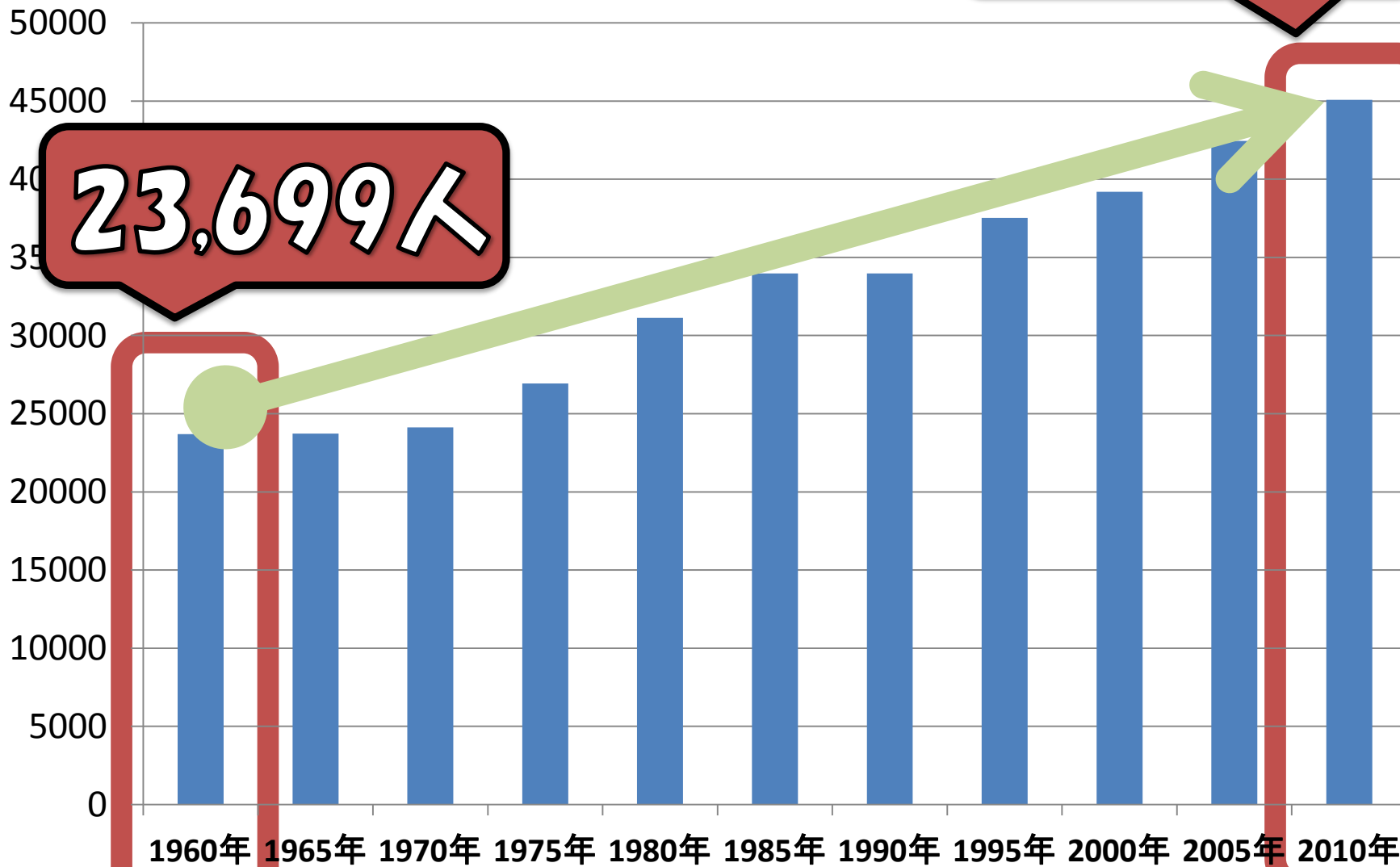
十勝川  
温泉

帯広市

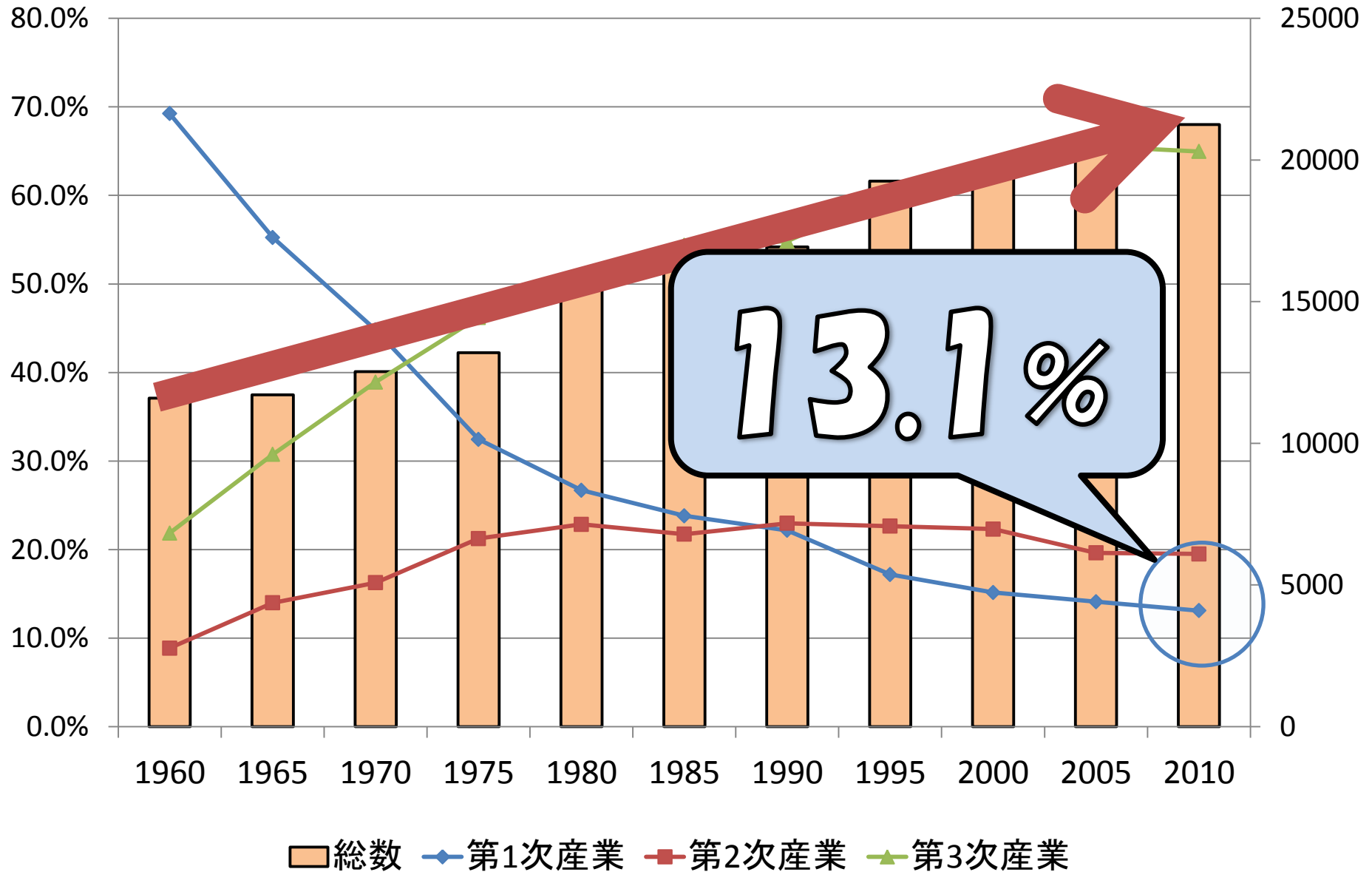


# ○人口の特性

45,085人



# ○産業構造の特性



# **4.音更町の現状における 各主体の声**

# 農家の声



なぜ農業を行っているのか？

健全なモノを  
作りたい



生活のため



収穫物の出荷先は？

直売所・製粉工場



ほとんど農協へ出荷



消費者と交流する機会は？



あってもなくてもいい



地域づくりに対してどのように思っているのか？



やりたい人にやらせればよい(無関心)

# 現状に対する各主体の声

農協

農業所得を向上させたい

新たな作物の導入を考えている。  
→ 輪作体系に組み込むのが難しく、  
産地間の競争もあるので厳しい・・・

自治体

地産地消などを進めていきたい・・・  
→ 地域づくりのきっかけになれば良い

原料農産物ばかりだけど、消費者に  
農業・農産物を知ってもらいたい

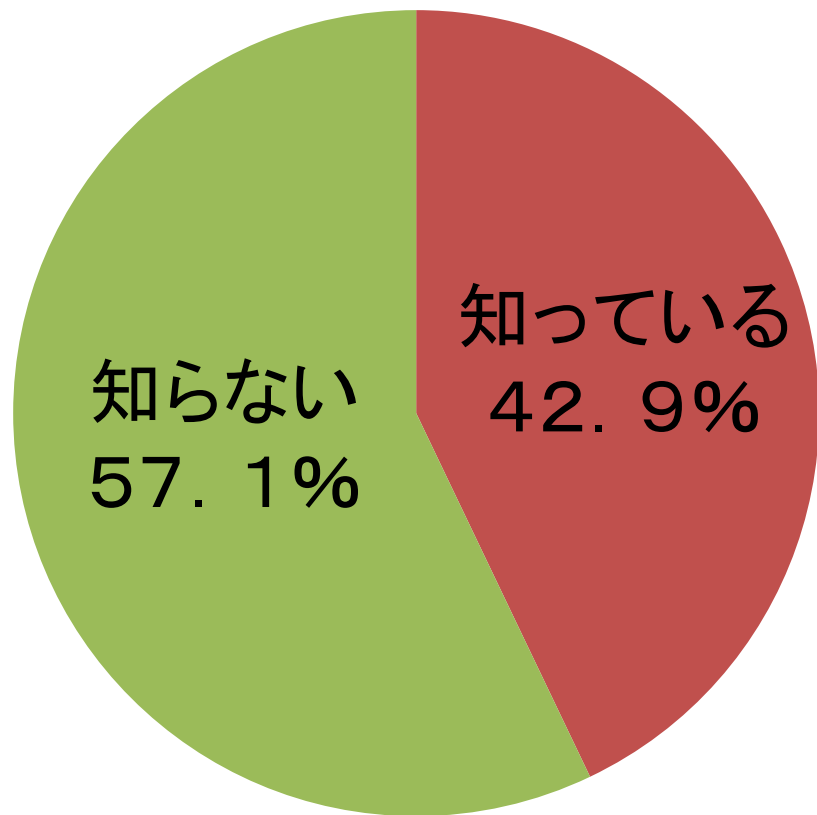
消費者

音更の農業について知らない

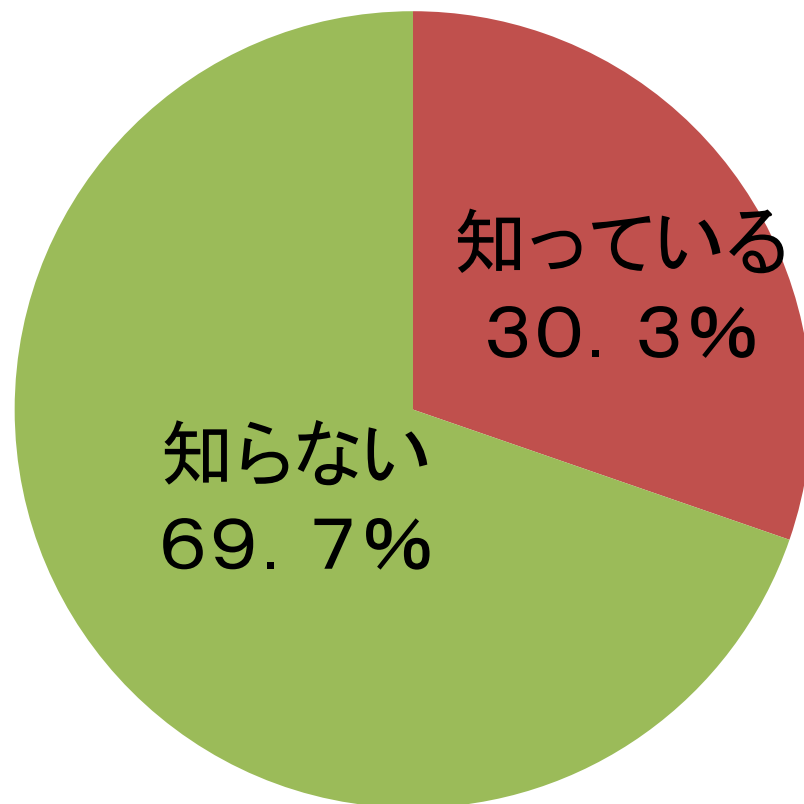


# ○消費者アンケート

**1 小麦生産量全国 1 位  
を知っているか**



**にんじん生産量道内 1 位  
を知っているか**



# 5. おわりに

# ○これからの地域づくり



結びつかない



消費者と生産者の  
つながり強化



音更町における  
地域づくりの  
方向性

# 地域づくりの方向性

買

収穫された農作物を  
買ってもらう

食

収穫された農作物を  
食べてもらう

一連の流れを作る場

見

畑そのもの・収穫  
風景を見てもらう

知

どのように作られ  
誰が作っているのか  
知ってもらう

# 収穫祭の開催

私たちは  
考えます！

ターゲット

近年、音更町に移住してきた住民  
→音更の農業を知らない人が多い

収穫祭 3本の矢

## 1. 畑の近くで開催

→町の中心部で開催すると一連の流れが作りづらい

## 2. 生産者と地元住民が交流できるスペース

→生産意欲や作物の質の向上につなげる

## 3. 連日開催し、毎日品揃えを変える

→地域住民が連日来てもらえるようにし、

生産者側も交代制にすることで負担を減らす